

北海道農泊推進ネットワーク会議について（令和3年7月）

国は都道府県単位で農泊に取り組むネットワーク組織を構築し、農泊実施地域を選定する取組を支援することで、農泊に取り組む地域の裾野の拡大等や農山漁村の所得向上、雇用増大及び地域の活性化を図るとしています。

これを受けて、「北海道農泊推進ネットワーク会議」が新たに設置され、国の支援制度を活用しながら農泊及び農村ツーリズム（農たび・北海道）の取組を一層推進していくこととなりました。

組織の構成

北海道農泊推進ネットワーク会議

構成員：支援会員、オブザーバー、
農泊地域、農泊実施地域、賛助会員

組織の事務局は北海道農政部農村設計課に置く。

農泊実施地域選定会議 (内部組織)

農泊実施地域の選定等を行う

支援会員・オブザーバー

支援会員：北海道経済連合会、北海道観光振興機構、J
A中央会、ホクレン、ぎょれん、森林組合連合会、日本
政策金融公庫、北海道グリーンツーリズムネットワーク、
北海道農業公社、北海道農業会議、北海道土地改良事業
団体連合会、北海道大学、札幌大谷大学、北海道
オブザーバー：北海道開発局、北海道運輸局、北海道農
政事務所

農泊地域

平成29年度（2017年度）
以降、国の農山漁村振興交
付金（農泊推進対策）に採
択された事業実施主体（地
域協議会等）のうち、本会
議への参加を希望する機
関・団体

賛助会員

本道における農泊・農
村ツーリズムの取組に賛
同し、支援等していただ
ける企業・団体・個人で、
参加申込書（別記第2号
様式）を提出した者

農泊実施地域

農泊を既に実施している
地域、または及び目指す地
域で参加申込書（別記第1号
様式）を提出した者のうち、
「農泊地域選定会議」で選
定された地域の協議会等

主要な事業

プロモーション事業

ホームページ等による情報発信

- 独自サイト・・・R3に新たに制作。
 - ・ 道の公式ホームページのほか外部ツールの活用を検討
 - ・ 農泊地域の情報のほか農泊、農村ツーリズム、ネットワーク組織、全道地図、各地区のインデックス情報、イメージ写真+実践者・来訪者の声など
- 構成機関・団体、賛助会員との相互リンク、QRコード表示などによる連携

SNSによる情報発信

- 農たび北海道Facebook、農たび北海道Twitterによる情報発信・・・H30、R1にそれぞれスタートしたSNSについて、本組織の立ち上げに伴い、記事内容や発信方法などを見直し、充実を図る
- 構成機関・団体、賛助会員との連携

その他のPR活動

- 商談会・展示会・・・農林水産省主催、北海道観光振興機構主催などの商談会等について農泊地域等に情報提供するほか、ネットワーク組織としての出展を検討
- ポスター、パンフレット・・・R3に農泊地域の情報等を掲載したパンフレットを作成（農泊、農村ツーリズム、ネットワーク組織の説明、全道地図、各地区の連絡先等、公式HP、SNSのQRコードなど）
- 構成機関・団体、賛助会員との連携

人材育成事業

研修会・セミナーの開催

- 農林水産省の農泊推進事業「広域ネットワーク推進事業」による人材育成研修等
- 道（農政部・観光局）、観光振興機構等による研修会・セミナー等

専門家の派遣等

- 農林水産省の農泊推進事業「広域ネットワーク推進事業」による専門家派遣等
- 道（農政部）事業による専門家派遣等

農泊実施地域選定事業

農泊実施地域の選定等

- 農泊の取組を既に実施している地域（実施体制あり）やこれから農泊を目指す地域について、あらかじめ選定基準等を設け、地域からの選定申請を受けて本組織が選定